

9月 くれよん あんず

日中はまだまだ夏と変わらず暑い日が続いていますが、だんだんと日が落ちるのもはやくなり、秋はすぐそこまで来ているような気がします。しばらく残暑が続きそうなので、こまめに水分補給を行い体調の変化に留意しながら活動していきたいと思えます。

9月7日(土)に保護者会がありますので、是非ご参加ください。(詳細は後日お知らせします)



7月から始まった水遊び☆初めはタライやプールの中に入るのを嫌がっていた子ども、回を重ねるごとに水に慣れていき、少しずつ水に触れたりタライやプールの中に入ることができるようになりました。今では、水面を叩いて水しぶきが出るのを喜んでいたり、柄杓やカップで水をすくって顔に掛けてみたりダイナミックに遊んでいるあんず組の子どもたちです♪それぞれのペースで少しずつ水に慣れていき、水遊びを楽しんでいる子どもたちの姿が見られ、成長を感じてとても嬉しいです♡



♡友だちとのかかわり♡

あんず組がスタートして5ヵ月が経ちました。「トイレの青い椅子に座ろうね」と声を掛けるとトイレに行き待ち椅子に座って待つなど、そんな子どもたちの成長に日々驚かされています♪

社会性の面では少しずつ友だちに興味を持ち始め、友だちの頭を撫でたり布で顔を隠して「ばあ」と顔を出して笑い合うなど、友だち同士で楽しそうにかかわって遊んでいる姿が見られるようになりました。高月齢の子どもたちは、友だち同士で簡単な会話をする姿がみられるようになり、「どうぞ」と言って玩具を渡したり「これ何?」と壁に貼ってある動物を指差して答えたりする様子が見られるようになりました。低月齢の子どもたちは、玩具を手渡したり大人を交えてわらべうたや手遊びを一緒にやるなど簡単なやりとりを楽しむ姿が見られています。友だちとのかかわりが増える一方で、玩具の貸し借りが上手にできずトラブルになることも。お喋りが上手な子どもでもまだまだ自分の気持ちを上手く言葉にすることが難しい年齢でもあります。自分の気持ちをどうという言葉で伝えたいのかかわからない時期なのです。そのため、叩く・押す などといった行動が見られる時もあります。

自分の言葉で伝えることが難しく、手を出してしまった時は、子どもの気持ちを受け止め代弁して伝えています。「○○したかったんだね」「痛かったね」などとそれぞれの気持ちを受け止めて言葉にして繰り返し大人が伝えた上で「お友だちを叩いたら痛いよ」などと、してはいけないことを分かりやすく伝えています。そうした中で簡単なルールを守ろうと意識出来たり、友だちの存在に気付き始め、子ども同士でのかかわりが深まっていくと感じています。

遊びの場面だけではなく、日々の保育の中で、大人が介入して言葉のやりとりと一緒に楽しんだり一つ一つのことを丁寧に言葉にして伝え、子ども同士のやりとりにも繋がっていかたいなと思っています!!

